

令和6年度

学 校 教 育

260名の子どもを38名の教職員の総力で育てる

真の愛情とは

教師としての子どもへの愛情というものは、私の手から離れて、一本立ちになった時に、どういうふう人間として生きていけるかという、一人で生きていく力をたくさん身につけさせさえすれば、それが幸せにしたことであると思います。つけられなかったら、子どもを愛したとは言えないと思います。親も離れ、先生もいなくなった時、子どもは一人でこの世の中を生きぬいていかなければなりません。力がなかったら、いかにみじめかと思っています。平常の、聞いたり、話したり、読んだり、書いたりするのに事欠かない、何の抵抗もなしに、それらの力を活用していけるように指導できていたら、それが私が子どもに捧げた最大の愛情だと思います。

職業人に徹するということは、子どもが一人で生きぬくために、どれだけの力があつたらよいか、それを鍛えぬこうとするのが、教師の愛情だと思いますし、本当に鍛えぬく実力が教師の技術だと思います。

子どもをかわいいと言うのでしたら、子どもが一人で生きる時に泣くことのないようにしてやりたいと思います。一人で生きる時に、不自由なく、力いっぱい生きていける、そういう子どもにしていかなければ子どもは不幸です。子どもを不幸にするようなことをして、愛情をもっていたなどと言ってみてもどうなりましょう。

大村 はま 「人と学力を育てるために」より

令和6年4月1日

京都市立祥栄小学校

令和6年度 祥栄小学校 学校経営方針

【学校教育目標】

未来に向かって たくましく 生きぬく子の育成 ～なりたい自分の実現をめざして、努力する子～

【育成を目指す資質・能力】

自ら学ぶ力

自分が持っている
知識と経験のすべてを
使って考える。

伝え合う力

他者の考えを取り
入れて自分の考えを
高める。

活かす力

学びを自分の生活に
広げる。

【授業を中心においた教育実践】

《わかる授業の追求》

0. 実態把握

1. 学習規律定着・学習集団作り
2. 学びの必然性・必要性
3. つけたい力の具体化・評価の共有

《行動指針》

☆ 子どもに寄り添って

小さな変容を見逃さない

☆ 指導しきる

達成したかを確認

☆ 矢印は自分に

常に自分の指導をふりかえる

【目指す子ども像】

㊦ きらめけない子

自分で決めたことを
最後までやりきる

㊦ いても自分も大切にする子

よさに気づき、
認め合い、共に生きる

㊦ した もっと元気になる子

基本的生活習慣を
身につけ、健康な
心と体をつくる

【目指す教職員像】

祥栄小学校のよさを自覚し、気概をもった教職員

【目指す学校像】

一人一人が自信をもち、学び合い、高め合う学校